

平成 30 年 12 月 6 日

各 位

大和エネルギー・インフラ株式会社

Bioendev AB の第三者割当増資引受について

大和エネルギー・インフラ株式会社(代表取締役社長:荒木秀輝、本社:東京都千代田区/以下、「当社」)は、Bioendev AB(CEO:Johan Berggren、本社:Korsvägen 1, 913 35 Holmsund, Sweden/以下、「Bioendev」)が実施する第三者割当増資の引受けに関する契約を平成 30 年 12 月 5 日付で締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

Bioendev は、トレファクション(※)・テクノロジーに関するリーディングカンパニーであり、いわゆる“バイオ・コール”の生産技術を保有しているプラントエンジニアリング会社です。今般、世界的に取り組みが活発化している温室効果ガスの排出削減、石炭火力発電に依存した電力事情からの脱却及びバイオマス発電所等のクリーンエネルギーへの転換トレンドにあって、“バイオ・コール”は石炭に代わる燃料として注目されております。

(※)トレファクションとは、有機廃棄物、特に木質バイオマス等を 200～300℃で熱分解することで炭素成分が多い物質にする炭化物生成のことです。トレファクションにより生成されるバイオ・コールは、木質ペレットと比較してエネルギー量が 2～3 割多く、輸送や貯蔵の効率を向上させることができます。また、火力発電所の既存設備を交換することなく混焼率を大幅に上げることが可能なため、欧米では火力発電所に供給されるバイオマス燃料の生産技術としても注目されています。

当社は今後、社外取締役の派遣や本件増資による Bioendev の強固な経営基盤構築だけでなく、当社が有するグローバルネットワークや再生可能エネルギー分野におけるノウハウを活用した協働体制を確立させることで、Bioendev の更なる事業展開及び企業価値向上に向けて努めてまいります。

また、当社は、既に資本業務提携先であるバイオマス・フューエル株式会社(代表取締役社長:黒田栄作、本社:東京都中央区京橋二丁目 7 番 14 号/以下、「バイオマス・フューエル」)と東南アジア諸国からの PKS の輸入やベトナムにおける木質ペレット工場建設等の共同事業を推進しておりますが、ここに Bioendev が加わることでバイオマス燃料関連事業の技術面での進化と北米含むグローバルな事業展開をさらに加速させていきます。

大和証券グループは、本年より代表執行役社長 中田誠司を委員長とした『SDGs 推進委員会』を設置し、グループ横断的に SDGs への取り組みを進めております。Bioendev への出資は、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)における「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」、「気候変動に具体的な対策を」に資するものと考えており、本

取り組みを通じ、当社グループは再生可能エネルギー事業を推進するとともに、SDGs 達成に向けて注力してまいります。

記

1. Bioendev AB の概要

| | |
|--------|---|
| 設立 | 2007 年 |
| 本社所在地 | Korsvägen 1, 913 35 Holmsund, Sweden |
| 主要株主 | Umeå Energi AB |
| 代表者 | Johan Berggren |
| 事業内容 | トレファクション・テクノロジーの研究及び販売等 |
| ホームページ | http://www.bioendev.se/ |

2. SDGs 17 の目標 ※本件は以下 3 つの目標に資するものです。

【目標 7】： エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

バイオ・コールを通じ再生可能エネルギーを推進します。

【目標 9】： 産業と技術革新の基盤をつくろう

トレファクションの技術により付加価値を創出します。

【目標 13】： 気候変動に具体的な対策を

本事業を通じ CO2 排出を抑制し地球温暖化防止に寄与します。

3. バイオマス・フューエル株式会社の概要

| | |
|--------|---|
| 設立 | 2008 年 |
| 本社所在地 | 東京都中央区京橋二丁目 7 番 14 号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 黒田 栄作 |
| 事業内容 | バイオマス燃料の仕入、製造及び販売等 |
| ホームページ | http://www.biomassfuel.co.jp/ |

以上